

慶應義塾大学藝文学会シンポジウム

2009年12月4日（金）14時45分～18時00分
於・三田キャンパス北館ホール

絵入り本と文学

司会/パネラー：石川透

（慶應義塾大学文学部教授・国文学）

パネラー：渋谷誉一郎

（慶應義塾大学文学部教授・中国文学）

松田隆美

（慶應義塾大学文学部教授・英米文学）

香田芳樹

（慶應義塾大学文学部教授・独文学）

築山和也

（慶應義塾大学文学部助教・仏文学）

——文学作品は、しばしば、絵を伴っている。国により、時代により、その形や呼称は違うが、作品をわかりやすく鑑賞するためには、重要な役割を担っていると言ってよいであろう。この絵入り本が、現代以前の文学作品とどのようにかかわってきたのかを、それぞれの国の研究者に紹介してもらい、問題点や課題を話し合いたいと思う。

シンポジウム終了後、生協食堂にて懇親会（無料）がございます。どうぞふるってご参加ください。